



GLORY writes a new STORY



GLORY

グローリー株式会社
2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

2026年3月期 第3四半期累計期間

1

決算ダイジェスト

代表取締役社長 原田 明浩

2

連結業績

執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

2026年3月期 通期

3

連結業績予想

執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

2026年3月期 第3四半期

1 | 決算ダイジェスト

代表取締役社長 原田 明浩

2026年3月期 第3四半期累計期間 連結業績

【売上高】 **2,423** 億円

【営業利益】 **143** 億円（のれん償却前利益 **208** 億円）

前年同期比 **-377** 億円（**-13.5%**）

前年同期比 **-159** 億円（**-52.6%**）

- 海外市場での売上高は前期並み（前年同期比+3億円）、営業利益は回復傾向（前年同期比+15億円）
- 国内市場は、前期に発生した20年ぶりの新紙幣発行対応（特別需要）の反動により減収減益も 想定内
売上高は新紙幣発行対応前である2023年3月期を上回る

2026年3月期 通期 連結業績予想

◆ 日本基準

【売上高】 **3,400** 億円

【営業利益】 **240** 億円（のれん償却前利益 **325** 億円）

前期比 **-290** 億円（**-7.9%**）

前期比 **-127** 億円（**-34.7%**）

◆ IFRS会計基準

【売上収益】 **3,400** 億円

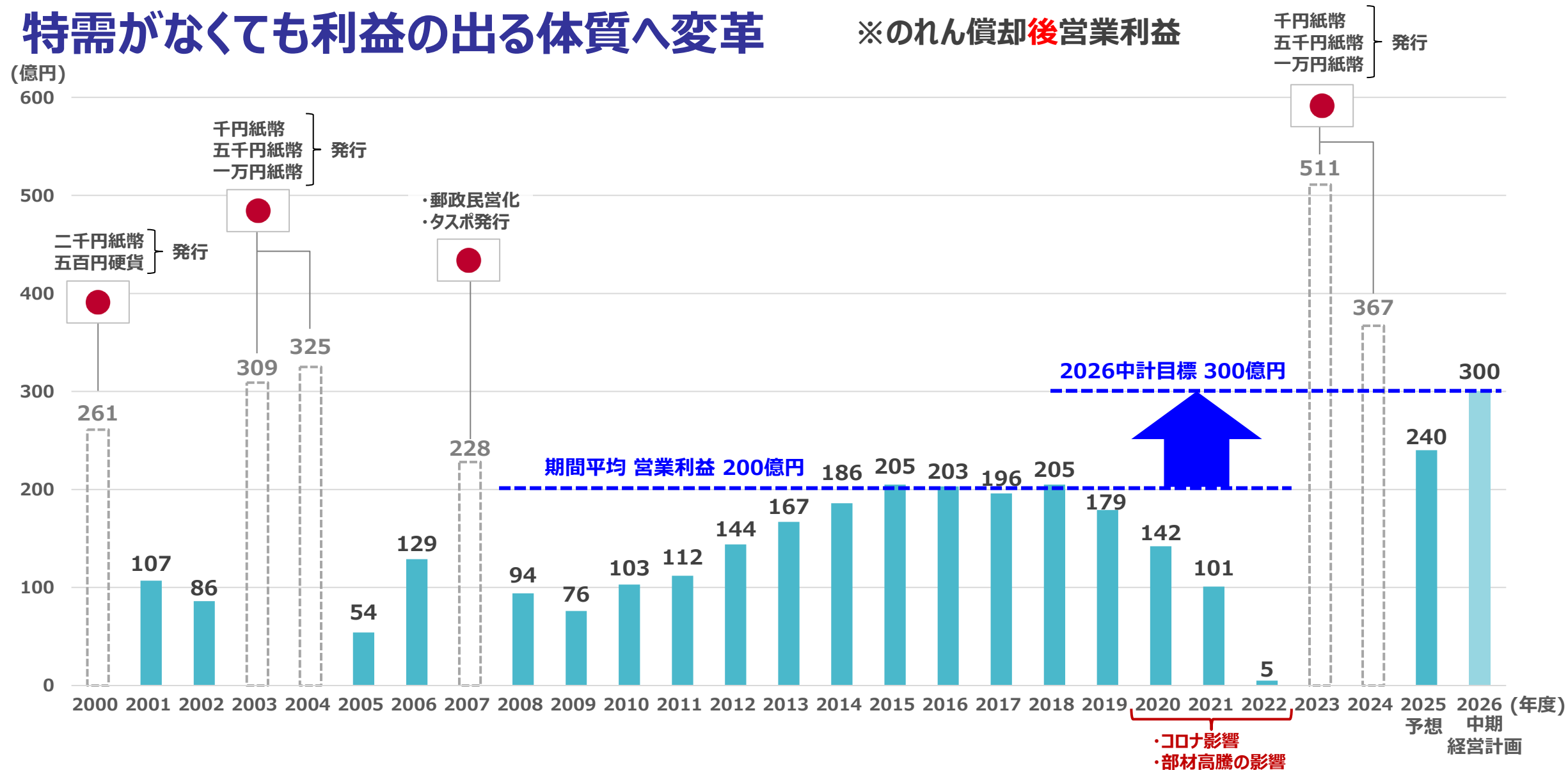
【営業利益】 **295** 億円

2026年3月期期末決算より国際財務報告基準（IFRS会計基準）を適用予定

- 国内金融は非現金事業の拡大を推進、リテールは国内外においてセルフ化ニーズの継続を見込む
- 流通・交通市場において、納入時期の変更を見込むも、中長期的な事業展開への影響はなし

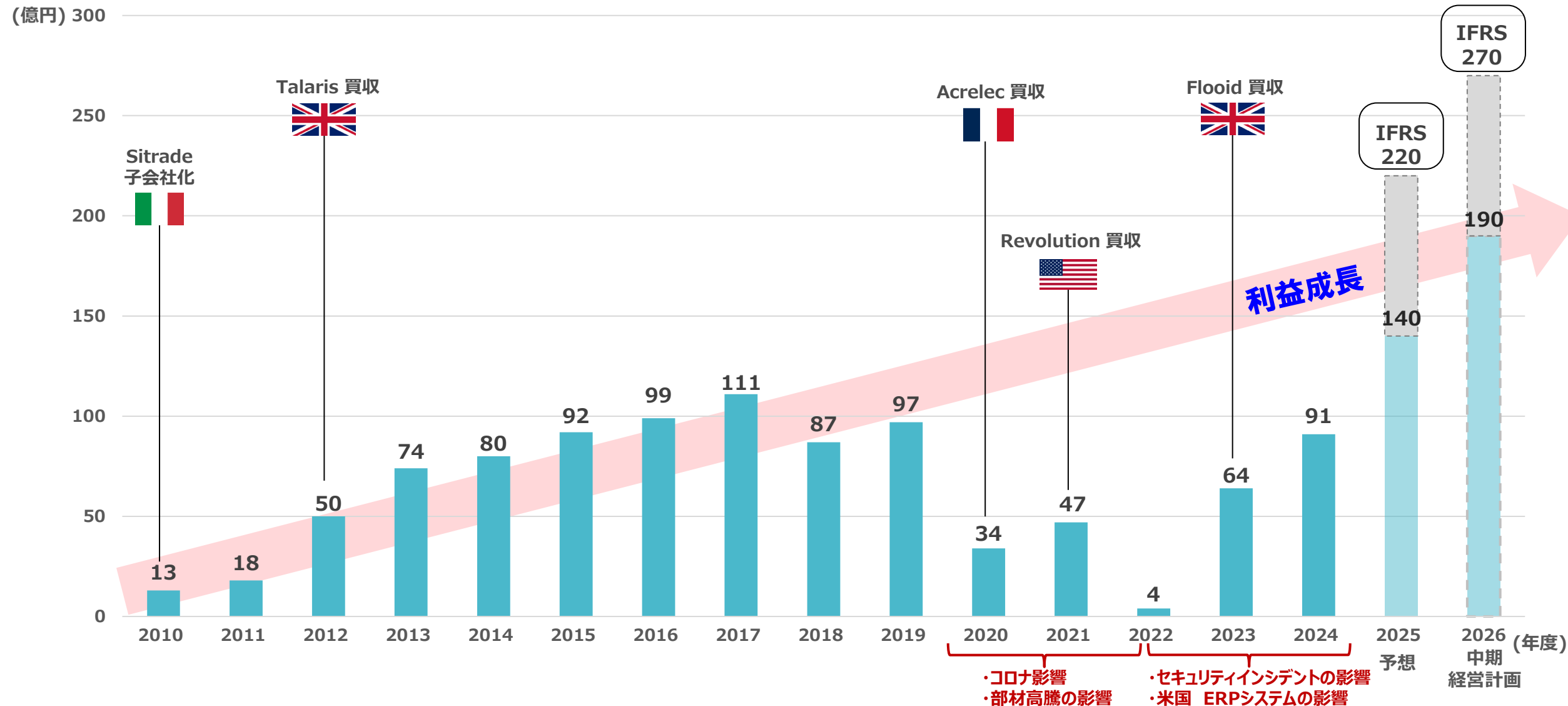
特需がなくても利益の出る体質へ変革

※のれん償却後営業利益



海外事業が利益の成長ドライバー

※のれん償却後営業利益



海外市場 英国 Waitroseからの大口受注

GLORY

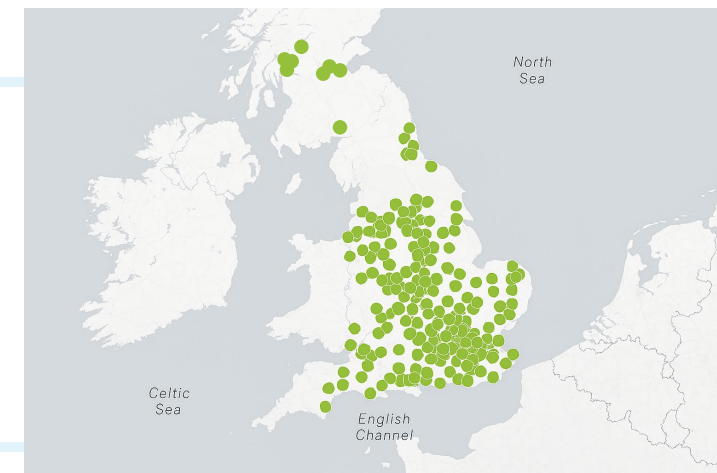
英国スーパーマーケット Waitroseより、
バックオフィス向け紙幣硬貨入出金機285台を受注

Flooid既存顧客からの受注であり、買収シナジーを発揮



Waitroseとは

- | | |
|--------|----------------------------|
| ・ 展開地域 | 英国 |
| ・ 店舗数 | 421店舗 |
| ・ 売上高 | £ 7.7 billion (≒1兆4,500億円) |
| ・ 取扱商品 | 食品、日用品など |



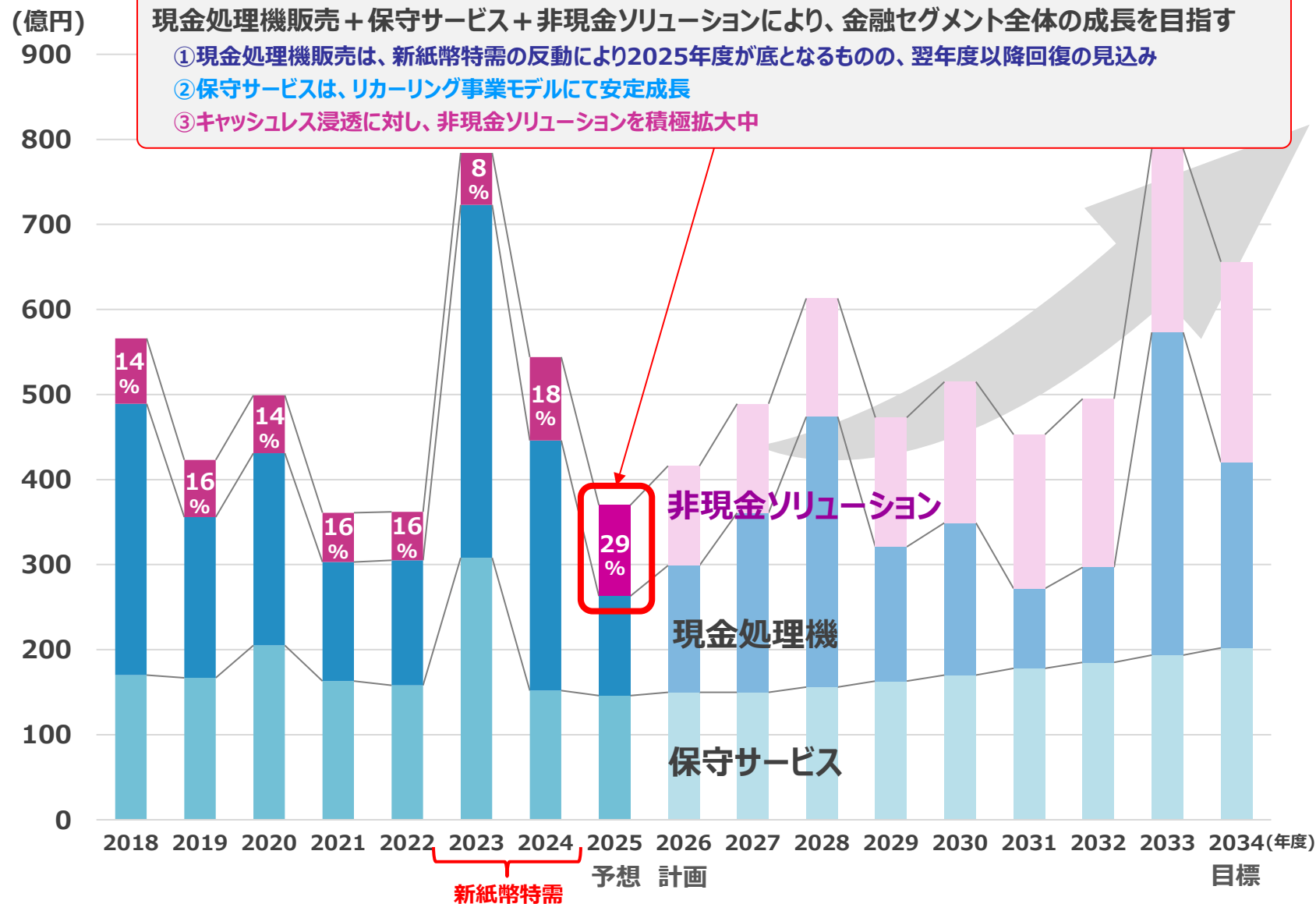
採用理由

- ・ 英国国内全店舗のバックオフィスにおける現金管理プロセスの効率化に貢献
- ・ 店舗内の試行において、グローリーのソリューションの有効性を認識
- ・ 保守サービスへの高い評価

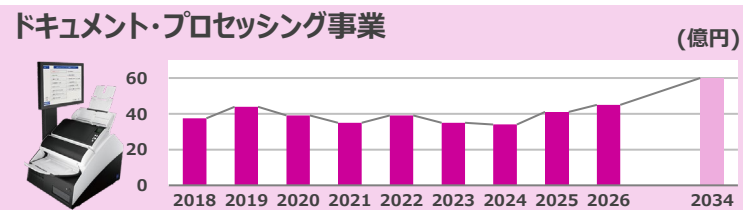
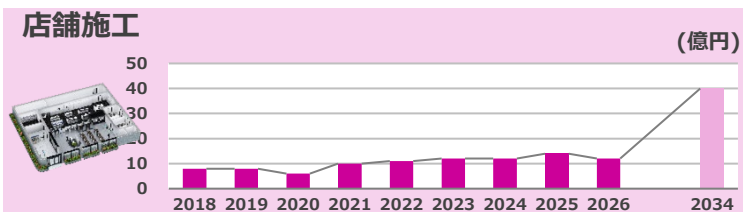
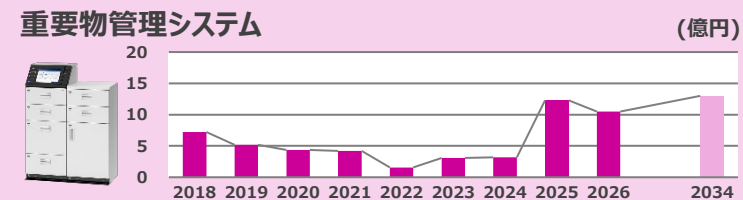
今後の見通し

- ・ グローリーが提供するデジタルソリューション「UBIQULAR™」の活用により導入店におけるリモート現金管理を実現



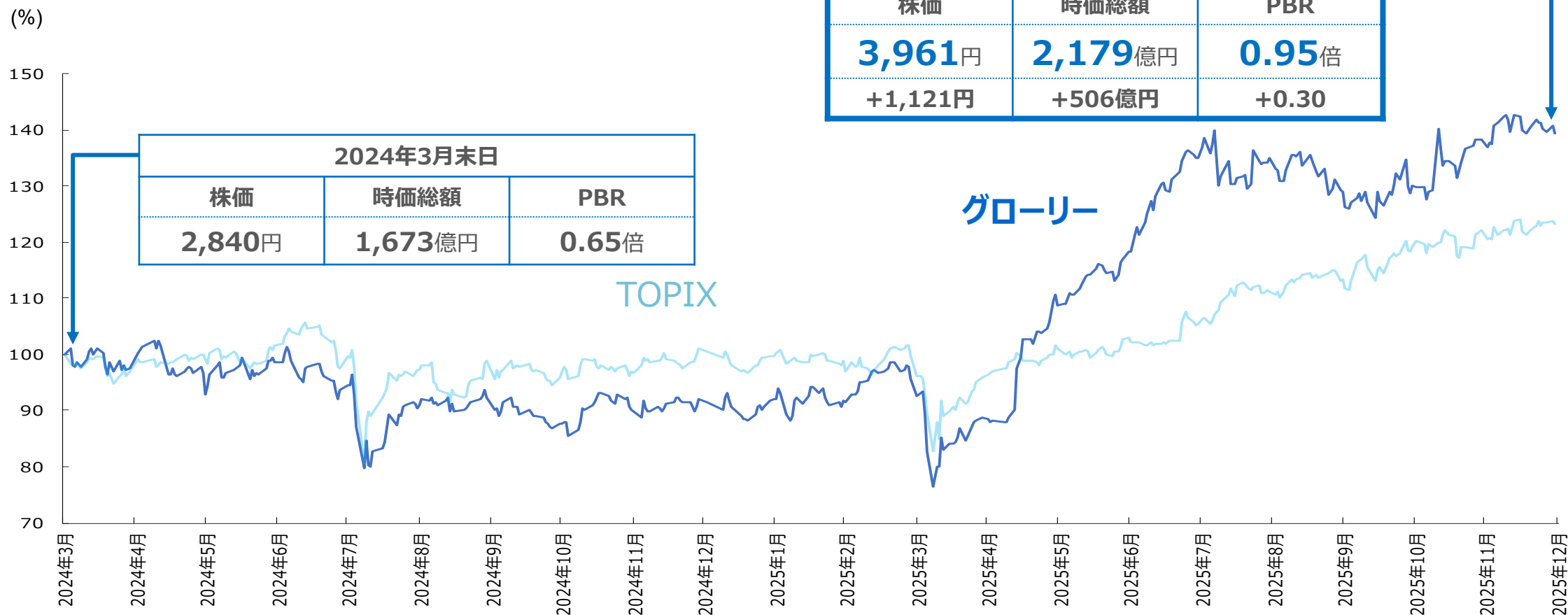


非現金ソリューション（一例）



株価推移と自己株式の取得状況

◆ グローリーの株価推移 (2024年3月末-2025年12月末)



◆ 自己株式の取得進捗

取得価額の進捗率は、日数進行率と同水準のペースで進行

取得期間： 2025年5月14日～12月31日 ※最長 2026年5月13日 (日数進行率 64%)

取得株数： 約278万株※上限 600万株 (進捗状況 46%)

取得価額： 約98億円 ※上限 150億円 (進捗状況 65%)

2026年3月期 第3四半期累計期間

2 決算概要

執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

売上高

海外の販売は前年同期並みで推移.国内の販売は新紙幣関連需要の反動等により減収

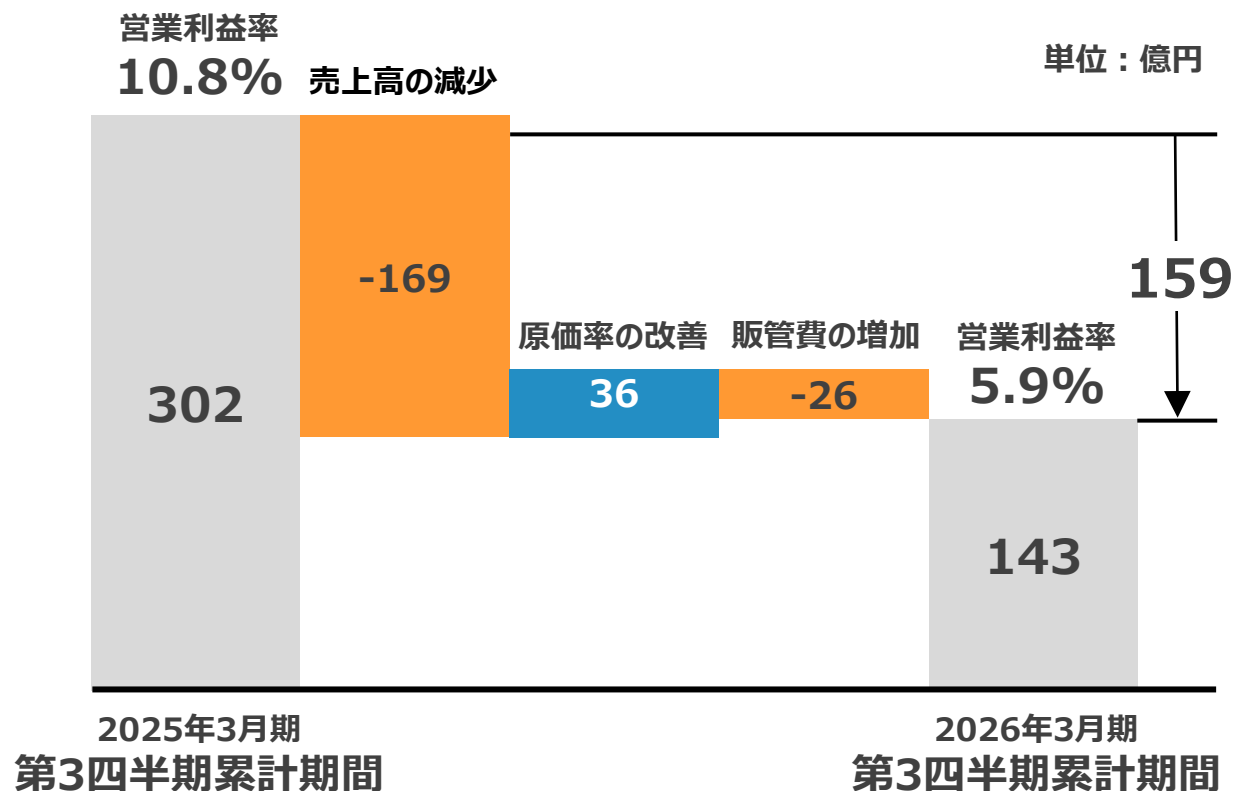
利益

国内において利益率の高い主要製品や新紙幣対応に伴う改造売上高の減少により、営業利益、経常利益、純利益とも減少

億円	第3四半期累計期間				前年同期比
	2025年3月期	売上高比率	2026年3月期	売上高比率	
売上高	2,800	100.0%	2,423	100.0%	-377 -13.5%
保守売上高	1,015	36.3%	943	38.9%	-72 -7.1%
営業利益	302	10.8%	143	5.9%	-159 -52.6%
経常利益	233	8.3%	102	4.2%	-131 -56.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	132	4.7%	43	1.8%	-89 -67.4%
※ EBITDA	480	17.1%	326	13.5%	-154 -32.1%

為替 レート	ドル	153 円	149 円
	ユーロ	165 円	172 円

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費



売上高減少の影響

- ・新紙幣発行に伴う製品更新や改造作業が終息し、国内事業の売上高が減少

原価率改善の効果

- ・米国での保守原価が改善

販管費増加の影響

- ・海外関係会社のコスト増加

セグメント別売上高・営業利益

<日本会計基準>



億円		第3四半期累計期間					
		売上高		前年同期比	営業利益		前年同期比
		2025年3月期	2026年3月期		2025年3月期	2026年3月期	
	海外市場	1,532	1,535	+3 +0.2 %	45	60	+15 +33.3 %
	金融市場	425	250	-175 -41.2 %	80	25	-55 -68.8 %
	流通・交通 市場	557	408	-149 -26.8 %	101	11	-90 -89.1 %
	遊技市場	231	172	-59 -25.5 %	77	49	-28 -36.4 %
	その他	53	55	+2 +3.8 %	-2	-3	-1 - %
	合 計	2,800	2,423	-377 -13.5 %	302	143	-159 -52.6 %

海 外	欧州における販売が増加も、Acrelec、Flooidの販売減少により、前年同期並み
国 内	新紙幣関連需要の終息等により、減収減益
のれん償却	のれん償却額64億円 ➡ のれん償却前営業利益 208億円

億円	第3四半期累計期間		前年同期比
	2025年3月期	2026年3月期	
売上高	1,532	1,535	+3 +0.2 %
売上高 構成比率	55%	63%	+8 pt
営業利益	45	60	+15 +33.3 %
営業利益率	2.9 %	3.9 %	+1.0 pt

製品以外

製品

営業利益

43

45

3

18

38

321

338

244

282

316

242

228

215

228

247

3Q

4Q

1Q

2Q

3Q

2025年3月期

2026年3月期

業績のポイント

売上高

実績 前年同期並み
要因 欧州での販売増加も米州及び買収子会社の売上が減少
対策 引き続き、大口商談を中心に販売拡大を目指す

営業利益

実績 前年同期比で増益
要因 米国でのコスト改善が大きく寄与
対策 引き続き、注力市場にて販売拡大を図る

計画に対する進捗

売上高

年間業績期初計画 進捗率 71%

(億円)

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

1Q

1-2Q

1-3Q *

1-4Q

期初計画

実績

営業利益

年間業績期初計画 進捗率 38%

(億円)

200

150

100

50

0

1Q

1-2Q

1-3Q *

1-4Q

期初計画

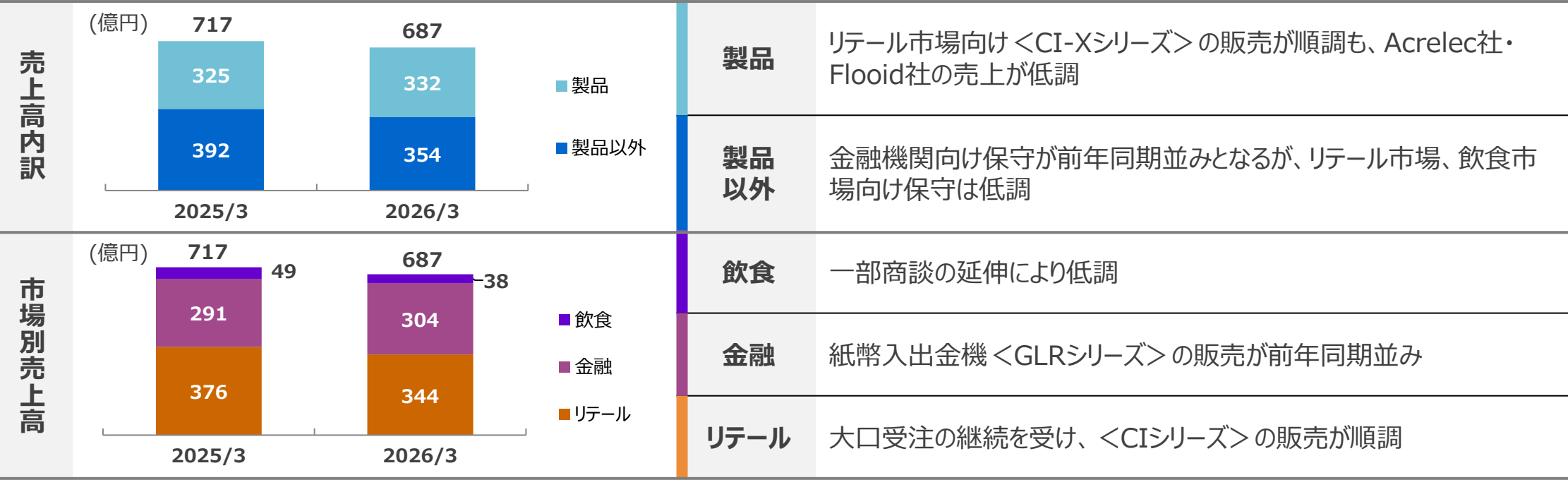
実績

*参考値



億円	第3四半期累計期間		前年同期比		米ドルベース
	2025年3月期	2026年3月期			
米州	717	687	-30	-4.2%	-1.8%
内 GGS	612	608	-4	-0.7%	+1.8%
内 Acrelec	49	38	-11	-22.4%	-20.8%
内 Flooid	56	41	-15	-26.8%	-23.7%
欧州	675	731	+56	+8.3%	+11.0%
内 GGS	333	355	+22	+6.6%	+9.0%
内 Sitrade	129	149	+20	+15.5%	+18.9%
内 Acrelec	177	190	+13	+7.3%	+10.1%
内 Flooid	36	37	+1	+2.8%	+5.3%
アジア	139	117	-22	-15.8%	-13.8%
内 GGS	110	98	-12	-10.9%	-9.0%
内 Acrelec	29	19	-10	-34.5%	-32.0%
合計	1,532	1,535	+3	+0.2%	+2.8%
内 GGS	1,055	1,060	+5	+0.5%	+2.9%
内 Sitrade	129	149	+20	+15.5%	+18.9%
内 Acrelec	256	248	-8	-3.1%	-0.6%
内 Flooid	92	78	-14	-15.2%	-12.3%

億円	第3四半期累計期間		前年同期比		
	2025年3月期	2026年3月期			米ドルベース
米州	717	687	-30	-4.2%	-1.8%
内 GGS	612	608	-4	-0.7%	+1.8%
内 Acrelec	49	38	-11	-22.4%	-20.8%
内 Flooid	56	41	-15	-26.8%	-23.7%



億円	第3四半期累計期間		前年同期比		
	2025年3月期	2026年3月期			米ドルベース
欧州	675	731	+56	+8.3%	+11.0%
内 GGS	333	355	+22	+6.6%	+9.0%
内 Sitrade	129	149	+20	+15.5%	+18.9%
内 Acrelec	177	190	+13	+7.3%	+10.1%
内 Flooid	36	37	+1	+2.8%	+5.3%



億円	第3四半期累計期間		前年同期比		米ドルベース
	2025年3月期	2026年3月期			
アジア	139	117	-22	-15.8%	-13.8%
内 GGS	110	98	-12	-10.9%	-9.0%
内 Acrelec	29	19	-10	-34.5%	-32.0%

※Acrelec社の日本国内での売上を含む





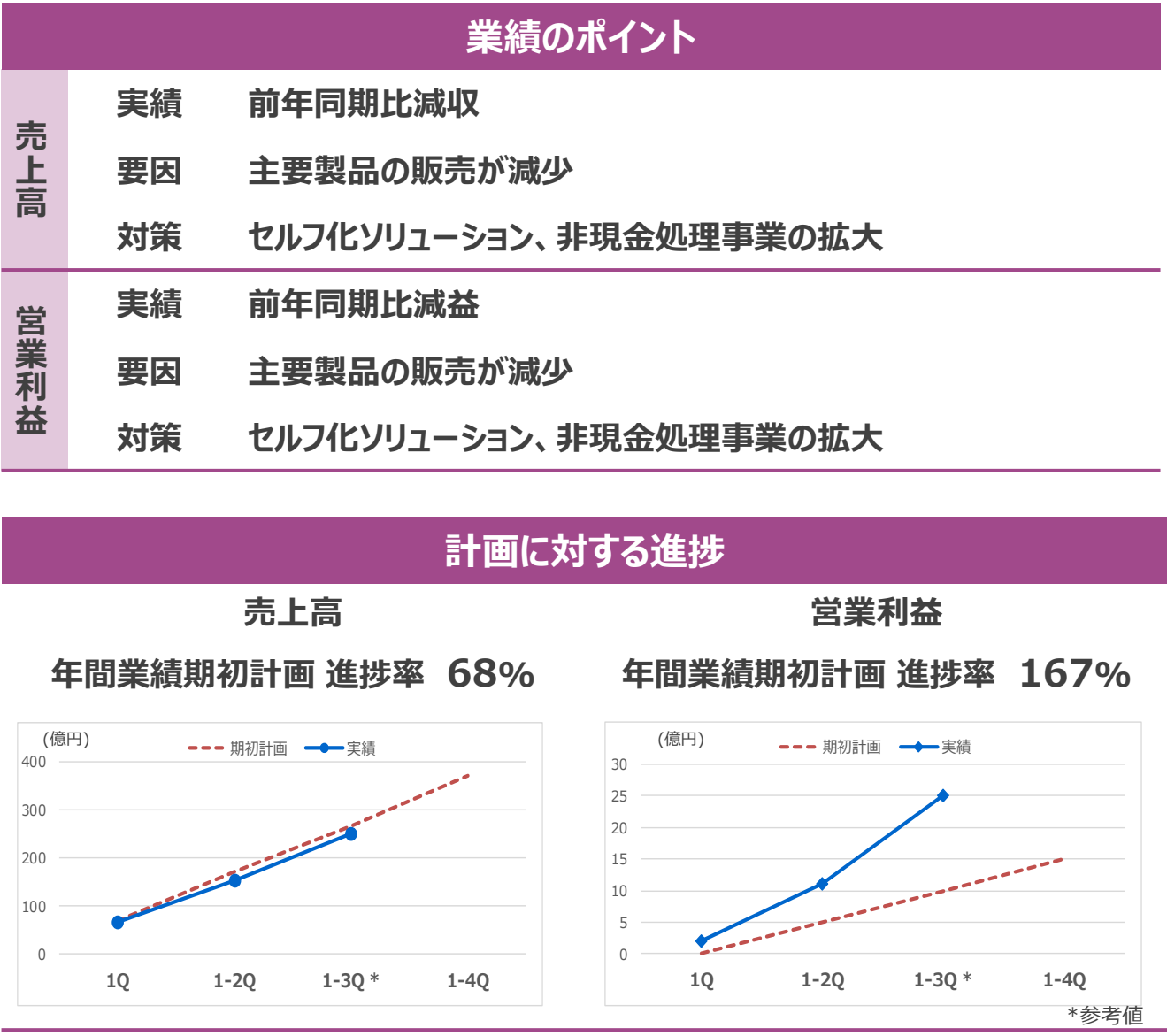
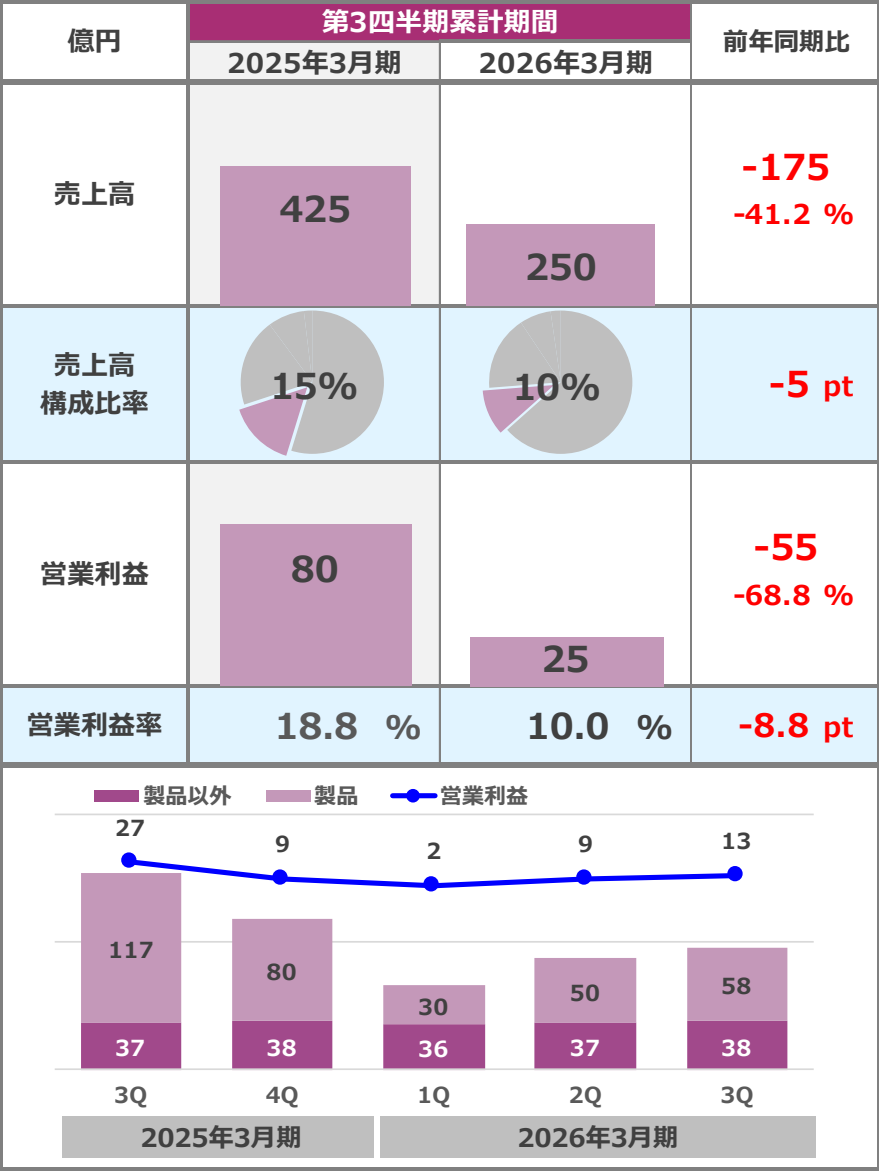
億円		第3四半期累計期間				前年同期比
		2025年3月期		2026年3月期		
売上高		256		248		-8
	米州	49	19%	38	15%	-11
	欧州	177	69%	190	77%	+13
	アジア	29	11%	19	8%	-10
営業利益	のれん償却前	16		5		-11
	のれん償却後	9		0		-9

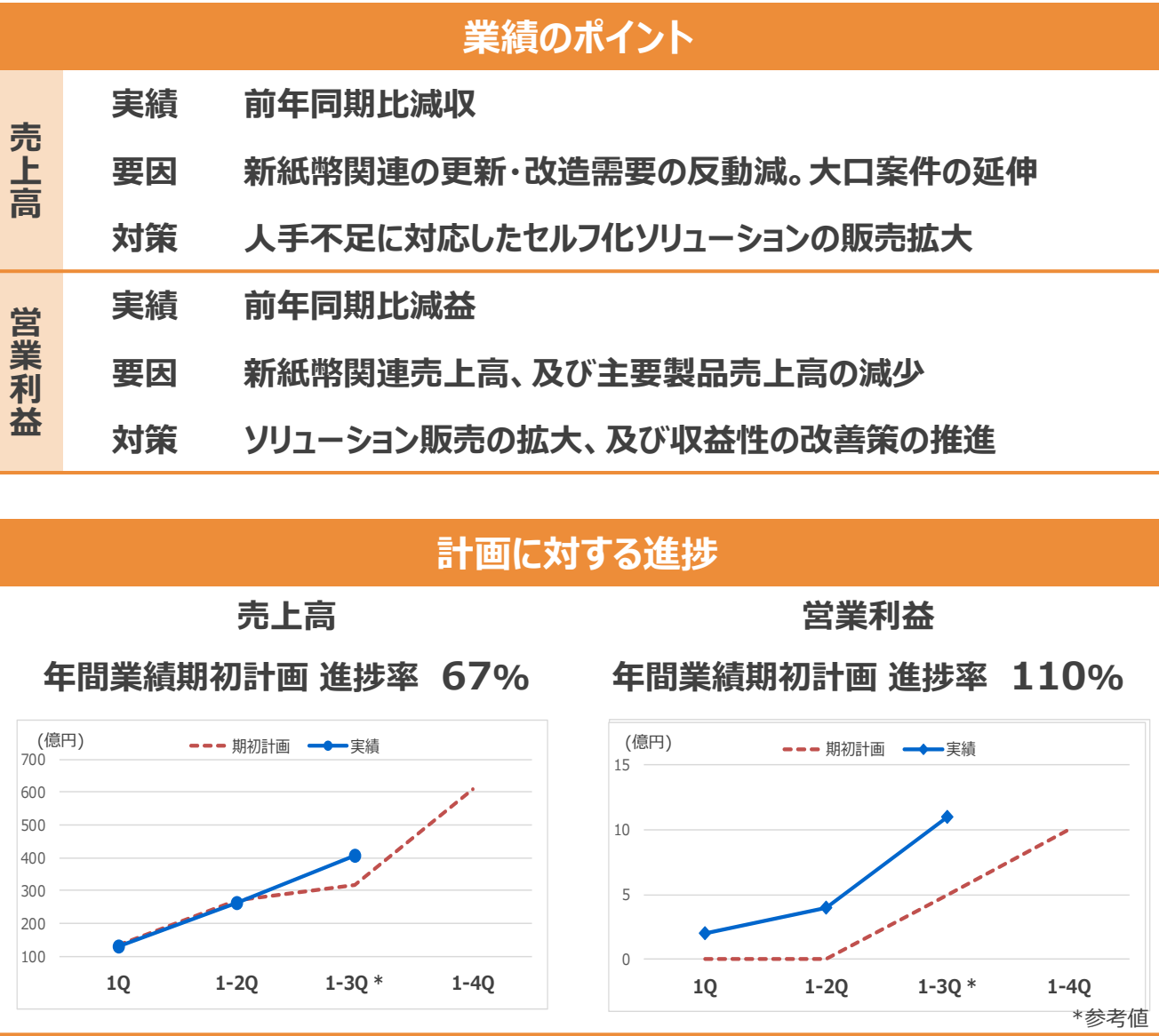
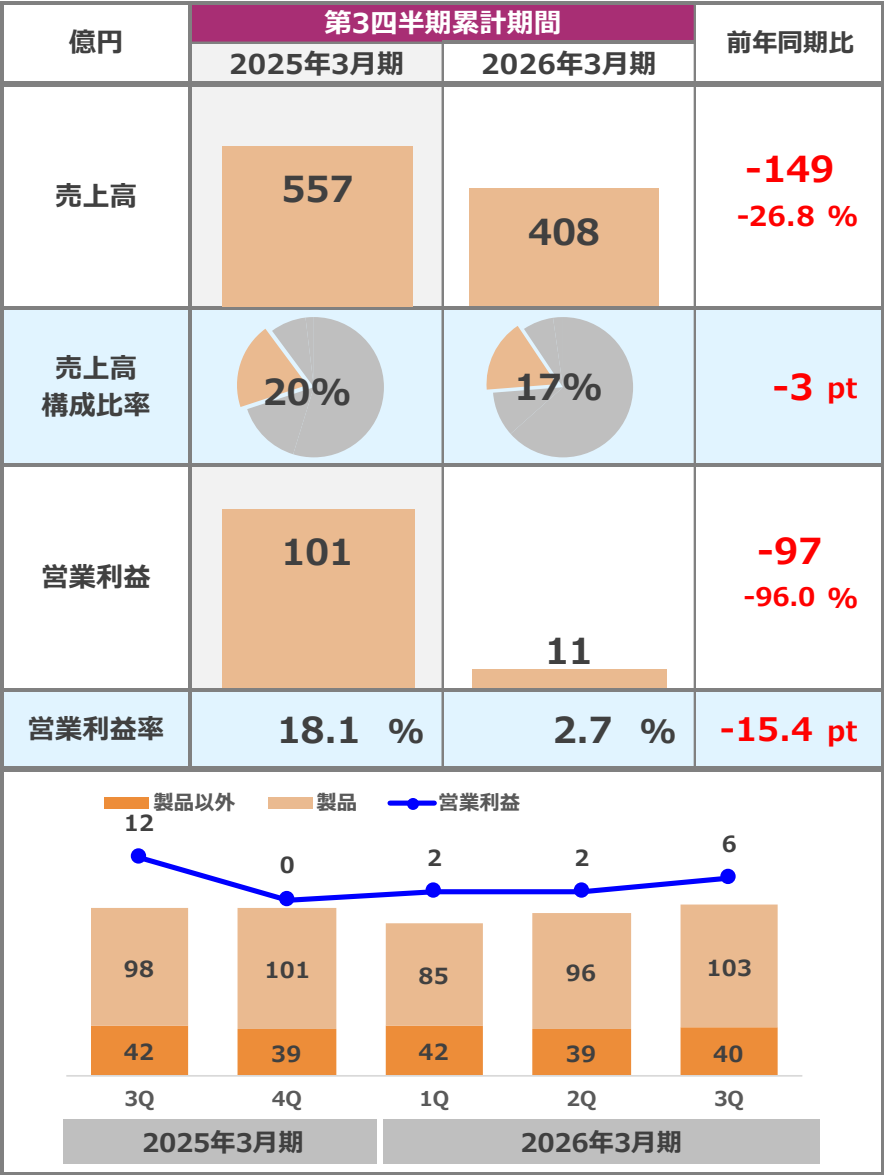
- 米州
- 関税影響による顧客の投資控えが影響し、前年同期を下回る
- 欧州
- 主要国フランス等で順調に推移
- アジア
- 日本での販売低調が影響し、前年同期を下回る



億円		第3四半期累計期間				前年同期比		
		2025年3月期		2026年3月期				
売上高		92		78		-14		
		米州		56	61%	41	53%	-15
		欧州		36	39%	37	47%	+1
営業利益	のれん償却前	25		4		-21		
	のれん償却後	14		-5		-19		

- 米州
- 特定顧客へのソフトウェアライセンス販売により、売上高が一時的に増加した前年同期に比べ、減少
- 欧州





億円	第3四半期累計期間		前年同期比																								
	2025年3月期	2026年3月期																									
売上高	231	172	-59 -25.5 %																								
売上高 構成比率	8%	7%	-1 pt																								
営業利益	77	49	-28 -36.4 %																								
営業利益率	33.3 %	28.5 %	-4.8 pt																								
<div><div></div>製品以外<div></div>製品<div></div>営業利益</div> <table><thead><tr><th>期</th><th>製品以外</th><th>製品</th><th>営業利益</th></tr></thead><tbody><tr><td>2025年3月期</td><td>226</td><td>5</td><td>77</td></tr><tr><td>2025年4月期</td><td>178</td><td>4</td><td>8</td></tr><tr><td>2026年1月期</td><td>200</td><td>4</td><td>14</td></tr><tr><td>2026年2月期</td><td>207</td><td>4</td><td>17</td></tr><tr><td>2026年3月期</td><td>168</td><td>4</td><td>17</td></tr></tbody></table>				期	製品以外	製品	営業利益	2025年3月期	226	5	77	2025年4月期	178	4	8	2026年1月期	200	4	14	2026年2月期	207	4	17	2026年3月期	168	4	17
期	製品以外	製品	営業利益																								
2025年3月期	226	5	77																								
2025年4月期	178	4	8																								
2026年1月期	200	4	14																								
2026年2月期	207	4	17																								
2026年3月期	168	4	17																								

業績のポイント

売上高	実績	前年同期比減収
	要因	新紙幣関連売上高の減少、及びカードシステムの販売減少
	対策	スマートパチンコの新基準に関する需要の取り込み
営業利益	実績	前年同期比減益
	要因	新紙幣発行に伴う改造売上高、及びカードシステムの売上高減少
	対策	スマート遊技機関連製品の利益率の維持向上を図る

計画に対する進捗

売上高

年間業績期初計画 進捗率 91%

期	期初計画 (億円)	実績 (億円)
1Q	50	50
1-2Q	90	115
1-3Q *	130	175
1-4Q	190	-

営業利益

年間業績期初計画 進捗率 140%

期	期初計画 (億円)	実績 (億円)
1Q	10	15
1-2Q	15	32
1-3Q *	25	48
1-4Q	35	-

*参考値

2026年3月期 通期

3

連結業績予想

執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

2026年3月期 通期 業績予想

<日本会計基準>

GLORY

売上高

海外は前期並みを見込むが、国内事業は新紙幣発行対応(特別需要)等の反動により販売減少を予想

利益

海外事業は大幅な増益を見込むが、国内事業の新紙幣発行対応(特別需要)等の反動による売上高減少により営業減益を予想

億円	通 期					前期比 (C) - (A)
	2025年3月期 (A)	売上高 比率	2026年3月期		売上高 比率	
			11月10日予想(B)	2月6日予想(C)		
売上高	3,690	100.0%	3,400	3,400	100.0%	-290
保守売上高	1,326	35.9%	1,240	1,240	36.5%	-86
営業利益	367	9.9%	240	240	7.1%	-127
経常利益	300	8.1%	220	180	5.3%	-120
親会社株主に帰属する 当期純利益	171	4.6%	115	90	2.6%	-81
※ EBITDA	608	16.5%	481	481	14.1%	-127

前回予想比 (C) - (B)
0
0
0
-40
-25
0

IFRS (億円)	2026年3月期 予想
売上収益	3,400
営業利益	295
-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	145

*基本的1株当たり当期利益：266.15円

為替 レート	ドル	153 円	145 円
	ユーロ	164 円	160 円

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

アクレック社の100%完全子会社化（残20%株式を取得）により
営業外費用 約30億円 を計上
目的：経営判断を迅速化し、事業推進力を強化

億円		通 期					前期比 (C) - (A)	前回予想比 (C) - (B)	IFRS 2026年3月期 予想
		2025年3月期 (A)	売上高構成比率	2026年3月期		売上高構成比率			
			営業利益率	11月10日予想(B)	2月6日予想(C)	営業利益率			
海外市場	売上高	2,100	56.9%	2,160	2,160	63.5%	+60	0	2,160
	営業利益	91	4.3%	150	140	6.5%	+49	-10	220
金融市場	売上高	544	14.7%	370	380	11.2%	-164	+10	380
	営業利益	89	16.4%	25	35	9.2%	-54	+10	22
流通・交通 市場	売上高	697	18.9%	610	570	16.8%	-127	-40	570
	営業利益	102	14.6%	14	14	2.5%	-88	0	5
遊技市場	売上高	277	7.5%	190	220	6.5%	-57	+30	220
	営業利益	86	31.0%	56	56	25.5%	-30	0	53
その他	売上高	70	1.9%	70	70	2.1%	0	0	70
	営業利益	-2	-	-5	-5	-	-3	0	-5
合 計	売上高	3,690	100.0%	3,400	3,400	100.0%	-290	0	3,400
	営業利益	367	9.9%	240	240	7.1%	-127	0	295

- 海外市場

リテール飲食市場での新規案件の獲得や、金融市場の更新需要などにより増収増益を見込む
- 金融市場

主要製品の更新需要は一巡し減収減益を見込むも、非現金分野や周辺機器の販売は高水準を維持
- 流通・交通市場

新紙幣発行に伴う製品・サービスの反動減により減収減益を見込む
- 遊技市場

スマート遊技機向けカードシステムの販売は緩やかになることを見込む

億円	通 期			前期比 (C)-(A)		米ドルベース	前回予想比 (C)-(B)	
	2025年3月期 (A)	2026年3月期						
			11月10日予想(B)	2月6日予想 (C)				
米州	1,008	1,060	1,050	+42	+4.2%	+9.5%	-10	
	内 GGS	875	915	930	+55	+6.3%	+11.9%	+15
	内 Acrelec	63	70	60	-3	-4.8%	-0.2%	-10
	内 Flooid	70	75	60	-10	-14.3%	-10.6%	-15
欧州	900	930	940	+40	+4.4%	+9.9%	+10	
	内 GGS	453	455	470	+17	+3.8%	+9.4%	+15
	内 Sitrade	166	170	170	+4	+2.4%	+7.7%	0
	内 Acrelec	231	250	250	+19	+8.2%	+13.6%	0
	内 Flooid	50	55	50	0	0.0%	+4.0%	-5
アジア	191	170	170	-21	-11.0%	-6.6%	0	
	内 GGS	154	130	140	-14	-9.1%	-4.5%	+10
	内 Acrelec	37	40	30	-7	-18.9%	-15.5%	-10
合 計	2,100	2,160	2,160	+60	+2.9%	+8.2%	0	
	内 GGS	1,481	1,500	1,540	+59	+4.0%	+9.4%	+40
	内 Sitrade	166	170	170	+4	+2.4%	+7.7%	0
	内 Acrelec	332	360	340	+8	+2.4%	+7.7%	-20
	内 Flooid	121	130	110	-11	-9.1%	-4.5%	-20

アクレック社およびフルイド社の通期予想

<日本会計基準>



億円		通 期					前期比 (C)-(A)	前回予想比 (C)-(B)
		2025年3月期 (A)		2026年3月期				
				11月10日予想(B)	2月6日予想(C)			
売上高		332			340			
米州		63	19%	70	60	18%	-3	-10
欧州		231	70%	250	250	74%	+19	0
アジア		37	11%	40	30	9%	-7	-10
合計		332	100%	360	340	100%	+8	-20
営業利益	のれん償却前 (IFRS)	15		25	11		-4	-14
	のれん償却後	7		17	3		-4	-14

米州

市場成長の踊り場にあたり、一時的な減収を予想

欧州

主要国フランス等で順調に推移

アジア

日本において、KIOSK導入の一巡を受け一時的な減収を予想



億円		通 期					前期比 (C)-(A)	前回予想比 (C)-(B)
		2025年3月期 (A)		2026年3月期				
				11月10日予想(B)	2月6日予想(C)			
売上高		121			110			
米州		70	58%	75	60	55%	-10	-15
欧州		50	41%	55	50	45%	0	-5
合計		121	100%	130	110	100%	-11	-20
営業利益	のれん償却前 (IFRS)	27		19	11		-16	-8
	のれん償却後	14		6	-2		-16	-8

米州

開発を強化してさらなる成長を目指す

欧州

<注意事項>

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。
また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。
2. 当資料の増減率、構成比は、千万円以下を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。